

「ご存じですか?」「肺年齢」と「タバコ病」

皆さんはCOPD(シーパーディー)「慢性閉塞性肺疾患」という肺の病気を耳にしたことはありませんか?肺の生活習慣病で、喫煙との関わりが非常に強いことから、別名「タバコ病」と呼ばれています。呼吸器内科を専門に診療している当院の外来でも、毎日のようにCOPDの患者様が受診されており、見逃せない病気の1つです。今回はこの病気についてお話をします。

COPDとはどんな病気?

年をとると誰でも、階段や坂道を上る際や急に体を動かしたときに息切れしがちです。この息切れは年のせいだけではなく、心臓の病気が主な原因と考えられてきました。ところが息切れの原因をよく調べてみると、呼吸器の病気の方が多いことがわかり、その中で最も多いのがCOPDでした。日本には、COPDの患者様が530万人以上いると言われています。COPDは、進行すると呼吸が出来なくなり、命に関わることもあります。

COPDの原因は?

COPDはヘビースモーカーに多い病気です。日本の患者様の90%以上は喫煙者です。また、タバコを吸わない人でも受動喫煙によってCOPDを発症する危険性があります。さらに、喫煙以外の原因として、大気汚染や職業的な塵埃(じんあい)や化学物質も刺激になります。

空気の通り道(気管支・肺胞)などに炎症が起こり、息切れが起こります。



長引く「せき」や「たん」にご注意!!

COPDの主な症状

咳・痰
かぜでもないのに咳や痰が毎日出る
息切れ
階段や坂道で息切れがする
呼吸困難
進行すると、日常的な動作においても慢性的に呼吸困難を感じる

COPDを見つける方法は?

<<COPDの診断>>

- 問診: 咳や痰、息切れ、喫煙歴など
- 視診: 体型や姿勢、爪の変形など
- 聴診: 呼吸音の変化など
- 肺機能検査: 肺活量、1秒量、1秒率、「肺年齢」など
- 画像検査: 胸部レントゲン検査や胸部CTなど

外見の老化が人それぞれであるように、臓器も固有の老化を考えると考えられています。肺の老化状態を表すのが「肺年齢」です。

肺の機能は、加齢とともに誰でも低下してゆきます。高齢者の肺年齢が高くて問題がない場合もあります。しかし、例えば「40歳代の人なのに肺年齢は60歳」というように、「実年齢

よりも極端に高い場合は、COPDをはじめとした呼吸器の病気(他)には、気管支喘息や肺炎などを疑う必要があります。



スパイロメータ



息をもらさないように鼻をクリップでつまみ、マウスピースをくわえる



「肺年齢」は、スパイロメータという器具を使った肺機能検査によって調べられます。当院でも随時検査を行っております。喫煙歴があり長引く「せき」や「たん」のある方は、実年齢に関係なく一度検査をお勧めします。お気軽にご相談ください。

ポイント

長引くせき・たん・息切れが気になったらCOPDを疑い、「肺年齢」を調べてみましょう!!



ひらた呼吸器内科クリニック 院長 平田 範夫

花粉症対策

花粉注意報発令!!



春の花粉症に悩まされる季節がやってきました。皆さん、「初期療法」は十分に行なっておられますか?従来の薬よりも眠たくなりにくい新薬も長期処方が可能となってきております。ご来院いただきご相談下さい。

お知らせ

ひらた呼吸器内科クリニックはリハビリテーションを始めました

開院以来、皆様からのご要望の多かったリハビリテーションを平成23年12月1日から開始しております。肩こり・腰痛などに対する効果はもちろんのこと、疲労回復効果も期待出来ます。是非、ご利用下さい。リハビリテーションについては、皆様の待ち時間を少なくし混雑を避けるために、「完全予約制」とさせていただきます。詳しくは当院までお気軽にお問い合わせ下さい。

次回も皆様の生活に役立つ医療情報をお届けいたします。